

# 勝高だより 6月号



第34号 平成19年6月11日発行  
 岡山県立勝山高等学校 広報誌  
 TEL (0867) 44 - 2628  
 FAX (0867) 44 - 4730  
 学校ホームページ  
<http://www.katuyama.okayama-c.ed.jp>

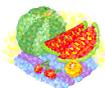
## 6月の行事予定

- 1(金) 教育実習(14日まで)
- 2(土)~3(日) 県総体
- 6(水) 球技大会(バレーボール)  
生徒会役員承認式 鼓山祭結団式
- 7(木) 耳鼻咽喉科検診(全学年)
- 9(土) 進研マーク模試(3年)  
英検1次
- 10(日) 進研マーク模試(3年)  
日商簿記検定
- 14(木) カウンセラー来校日
- 15(金) SPA ホストファミリー説明会
- 16(土) 土曜日学習 保護者対象進路説明会  
(午前:3年生 午後:1年生)
- 19(火)~22(金) 修学旅行
- 24(日) 全商簿記検定
- 30(土) 土曜日学習



## 7月前半の行事予定

- 1(日) 全商ワープロ検定
- 2(月)~6(金) 期末考査
- 2(月) カウンセラー来校日
- 7(土) 進研記述模試(全学年)  
SPA 受け入れ
- 8(日) 進研記述模試(3年) 英検2次
- 9(月) SPA 歓迎式



【SPA とは、国際姉妹校交流のことです】

# 芸術鑑賞会

講談、  
落語に聞き入る  
人間国宝  
一龍齋貞水さん



5月24日(木)中間考査最終日の午後、勝山文化センターに出向き、芸術鑑賞会を開催しました。「ほんまもの」に触れる機会として毎年開催しており、今年度は人間国宝の一龍齋貞水さんの講談と、柳亭楽輔さんの落語に生徒、保護者、教職員約500人が聞き入りました。一龍齋さんの「江島屋怪談」では、薄暗い中、迫力あふれる口調で繰り広げられる空間に観客はどっぷりつかりました。会の最後には、生徒会長から花束贈呈を行いました。そして、一龍齋さんから、「最近の若い者は『らしく』なく、『ぶる』んです。どうか高校生『らしく』過ごしてください」とのお言葉をいただきました。

## 美作総体 結果報告



5月12・13日に津山市で美作地区の高等学校・高等専門学校17校が一同に会し、美作地区高校総体が開催されました。天候にも恵まれ、津山高校グラウンドで開会式が行われたあと、各会場に分かれて競技が行われました。本校の選手たちも日ごろの練習の成果を精一杯出して元気あるプレーを繰り広げていました。

男子の部	優勝	相撲
		バドミントン 鈴木・村松ペア
	2位	サッカー バドミントン(団体)
		陸上 砲丸投げ 旦
	3位	ソフトテニス
女子の部	優勝	バドミントン 中西・横山ペア
	2位	バドミントン(団体) 卓球
		陸上 槍投げ 新幸

健闘  
女子総合4位!

## 校内球技大会



6月6日(水)校内球技大会が行われました。体育の時間での練習成果を発揮した大会となりました。毎年、この時期の恒例行事であり、3年生は3回目。技術的にも上達した様子が見られました。

優勝	1年	12HR
	2年	22HR
	3年	32HR



## 鼓山祭結団式

球技大会の後、鼓山祭結団式が行われました。団の色決めは団長が選んだひもを引っ張ると垂れ幕が落ちて色がわかる演出でした。それぞれの色に思い入れがあり、みんな固唾を呑んで見守りました。



団構成は、生徒会新聞等でお知らせします。いよいよ鼓山祭、動き出します。



## 吹奏楽部 心一つに音を創る



昨年に引き続き、吹奏楽部の第2回サマーコンサートが開かれました。保護者・友人・近隣の中高生・OB・OGなど来場者は400名余りと大変大勢の観客を前にしての演奏会でした。第1部は昨年のコンテストの曲などを中心に吹奏楽部の集大成となる選曲。第2部はジャズ・ポップス調の軽やかな音を奏で、衣装もポップなものに変え、楽しい空間を演出する曲でした。最後の曲が終わっても拍手が鳴り止まず、アンコールの演奏が行われ、さわやかな感動のうちに2007年勝高吹奏楽部サマーコンサートの終焉となりました。

## 現代美術作家との語らい 美術部

米国を拠点に活動する現代美術作家の坂口登さんが本校を訪れ、美術部員10人とワークショップを行い、「美術」について語らいました。勝山文化往来館「ひしお」で開かれていた作品展にあわせて、美術に取り組む若者と語りあう企画。12歳で渡米した後の苦労話、感じたことなど高校生にわかりやすくお話をされ、生徒は憧れの眼差しをむけていました。美術だけでなく、どの分野にも通ずる坂口さんのお言葉を紹介します。

『高校時代は本質よりも技術を学んでいる段階。技能がないと、思ったように表現できないので、技術をしっかりマスターしよう。技術を学んでいるときに失敗を積み重ねると失敗しなくなるものです。』

卒業生 9名

## 只今、教育実習

6月1日から9名の教育実習生が勝山高校に帰ってきました。2週間または3週間を母校で過ごし、授業参観や教材研究など、教員になるための勉強に熱心に取り組んでいます。期間中は球技大会への参加、LHRで受験の体験記や大学生活についての講話を企画しています。先輩として、教職を志す者として、在校生の刺激になるような懸命な姿が見られます。



緊張の  
初授業

6月3日(日)  
勝山文化センター



5月11日(金)  
多目的室「なごみ」

